

「思春期フォーラム in 富士・東部」開催

10月22日(月)、上野原市文化ホールに於いて、富士・東部保健福祉事務所・富士・東部教育事務所の共催による「思春期フォーラム in 富士・東部」が開催され、北都留地域管内の小中学校の教員、PTA関係者など75名が出席しました。

このフォーラムは、子ども支援とともに親支援のあり方についても検討をし、積極的に関わろうとするもので、平成17年度に、都留市と北都留地区の小・中学校に協力依頼をして実施した「思春期の子を持つ親の意識調査」を踏まえています。

シンポジウムは、教職員代表、医療関係者代表、保健関係者の3名から、それぞれの立場からの提言がなされ、次いで、座長とシンポジストとの討論、さらには会場を巻き込んでの質疑応答のやりとりが、活発に行われました。その中では、「子どもの心と体を守る」という大きなテーマのもとに進められ、「(子どもの)目や心から離れてはいけない」、「乳幼児期の親子関係の大切さ」、「自己肯定感」の重要性等が、力説されました。



シンポジストの方々



聞き漏らすまいと熱心に・・・

会合では、医療関係者・学校関係者が一丸となり思春期保健を推進すること、母子保健、学校保健、思春期保健は継続性があり、関連性が強いことを関係者が認識し、協働して取り組みの推進を図る必要があること等が、総括されました。

「南都留地域教育フォーラム」開催

11月2日(金)、南都留地域教育推進連絡協議会(分部長 美盛会長)・富士・東部教育事務所・山梨県教育委員会共催の第10回山梨県南都留地域教育フォーラムが、明見小学校を会場に開催されました。

このフォーラムは平成10年度にスタートしたもので、当初の2年はシンポジウム、平成12年度からは分科会での発表・討論会形式となり、今年度は例年の7つの分科会プラス特別分科会の、計8つで展開されました。当日は幼稚園・保育園・大学を含む学校関係者、福祉・教育関係者、地教委、商工会や青年会議所など連絡協議会に所属する団体などから310余名が出席しました。

今回のフォーラムは、前年度からの継続性をも意識し、「子ども達の教育は地域全体で担う～地域連携・地域交流を深めるためにⅡ～」をテーマとし、冒頭、桂高校の長田義人校長により、今回のフォーラムの性格、話し合われる課題等を明確にした基調提案がなされ、8つの分科会では学校間・異校種の連携や地域との連携、特別支援を必要とする児童生徒のサポートチームやネットワークづくりなどについての研究や事例・実践発表の報告、熱心な討論が繰り広げられました。



第4分科会の様子



また、分科会に先立つ全体会の中でのアトラクションでは、「光っ子コンサート」として、「富士河口湖高尾太鼓」が勇壮な響きを体育館内に轟かせ(左写真)、出席者から大きな拍手を浴びていました。

都留高校公開授業 & Super Science High School 公開講座 「オーサービジット」

10月25日(木)、都留高校では、新しい時代に対応できる魅力ある学校づくりの推進、開かれた学校づくりや、地域との連携強化を視野に入れ、保護者や中学校の教職員と一堂に会して、よりよい指導方法や中高接続形態の研究を深め、さらには情報交換・意見交換の場とするべく、公開研究授業が開催されました。

5校時の時間帯は、全クラスを対象とした「公開授業」とし、6校時は、NIE(新聞記事を活用する取り組み)を意識した、5教科(国・地公・数・理・英)の「公開研究授業」でした。各教室とも工夫された授業が展開され、研究授業後には、参観した中学校教職員との教科別懇談会が持たれました。

また、11月16日(金)には、首都大学東京学長の西澤潤一氏をお招きし、「『生きる気概』～私のこれまでと皆さんのこれから～」と題した講演会が開かれました。確かな、蓄えられた知を力にすること、素晴らしい展望を持って、「今」を大切に生きることの重要性を分かり易く話され、氏は以前、東北大学総長だった関係から、岩手の生んだ宮沢賢治を引用したり、東北(帝国)大学教授だった金属材料研究の権威の本多光太郎博士の、「弛まず 倦まず 諦めず」を、生徒たちに力強くうたえ、締めくくりとされました。

都留高校では、関連した事業として、12月18日(火)には、公開研究授業、SSHグループ研究発表、研究協議、運営指導委員会を内容とした、「SSH研究発表会」も開催されました。



現代社会の授業

市長さんと話す会

11月9日(金)、「私たちの考える 未来の富士吉田市～緑にあふれ 心やさしい街 富士吉田～」をテーマに、市民会館6階小ホールで開かれました。

この会も35回目を数え、市内各小中学校での平素の取り組みの紹介、それに対する質疑応答が熱心に話され、自分たちがすべきことやできることは何か、真剣に話し合われ、出席の市長さんをはじめ、行政の方々も耳を傾け、また、参加の高校生も感想を述べたり、中身の濃いものでした。



児童生徒の主体的な進行

都留子ども議会

11月19日(月)には、都留市役所議会場にて、「都留子ども議会」が開かれました。市政を身近に知り、提言をしたり、自分たちの活動を知ってもらうことを目的としています。

市内の各小、中、高校が学校の紹介、普段の活動の様子を発表し、次いで、市政への質問、それに対する考えや回答が発表されました。

「子ども議会」とはいえ、参加の児童生徒の真剣な取り組み、市側の真摯な対応に、本物さながらの光景が繰り広げられ、夜にはNHKの県内ニュースでも取り上げられました。



富士吉田市内私立幼稚園 園児の集い

11月16日(金)、「富士吉田市私立幼稚園5ヶ園 園児の集い」が、富士五湖文化センター大ホールにて開催されました。

園児一人ひとりの感性を育み、各園の親睦・交流を深めることを目的としたものです。

開会式後に観劇となり、劇団こぐま座による「こぶとりじいさん」の

上演(右写真)が、和やかにステージに繰り広げられ、園児たちは身を乗り出して楽しみ、続く、バラエティーショーも、歌とあそびの楽しいもので良き思い出になったでしょう。



明見小PTA親子ふれあいフェスタ

～親子の絆を深める～

明見小学校(浅沼茂夫校長)では、11月18日(日)、「第3回PTA親子ふれあいフェスタ」が開かれ、全校児童とその保護者や地域の皆さんなど約1300名が集まり、盛大に行われました。

この会も今年で3回目を迎え、内容もますます充実してきました。放送での開会式後、全体が2グループに分かれ交互に行われました。Aグループはチャレンジコーナーで「ビーズづくり、簡単科学実験、工作バルーン、絵手紙など」。また、Bグループはエンジョイコーナーで「シャボン玉、昔の遊び、体力測定、お祭りコーナーなど」です。



いずれも前もってPTAで構成された実行委員会が組織され、この日に向けて何日もかけ、念入りに準備を進めてきたそうです。

その甲斐もあり、どのコーナーからも子どもたちや保護者の歓声や笑い声が絶えませんでした。



伊藤知治教士剣道教室

11月23日(金)、警視庁逮捕術指導室主席師範の伊藤知治教士(大月市出身)による剣道教室が、大月東中を会場に開催され、大月市や上野原市のスポーツ少年団の豆剣士、地域の中学校、高校はもとより甲府地区からの参加もあり、大盛況でした。

剣士たちの元気な声が響き渡る全体指導から、代表生との緊迫感のある手合わせへと、体育館内には張りつめた空気が漂っていました。伊藤教士ご自身が、今でも厳しい精進を継続していることや当日のご指導からは、背筋をピンとして、何事にも真正面から取り組む姿勢の大切さを、無言のうちに示唆しているように感じました。



「明日の風」掲示板 (北都留)

- ☆ 「一人一花 フォトライブラリー」開催中
期日: 11月5日(月)～12月21日(金)
場所: 北都留教育会館(大月市大月2-8-29)
* 各学校の花作りの写真やソジの森の植物写真等を展示しています。
- ☆ 小林雅英投手野球教室
期日: 1月14日(月)12:00～
場所: 上野原市菅桂川野球場
(雨天時、島田中学校体育館)

「富士の光」掲示板 (南都留)

- ☆ 全国高等学校総合体育大会
スケート・アイスホッケー競技大会
期日: 1月21日(月)～27日(日)
場所: 富士急ハイランド・セイコーホール、富士山アリーナ
- ☆ 南都留支部特別支援教育研究連盟学習会
期日: 1月31日(木)15:00～
場所: ふじざくら支援学校

----- 上記掲示板についての問い合わせ先 -----

富士・東部教育事務所 地域教育支援担当

TEL 0554-45-7841

FAX 0554-45-7823

